

第三十回帝國議會
衆議院

水道條例中改正法律案委員會會議錄(速記)第二回

會議

大正二年三月一日午前十時二十八分開議

出席委員左ノ如シ

井上 角五郎君 若尾 幾造君 津島源右衛門君
帆足 隼太郎君 紫安 新九郎君 村松 龜一郎君
國光 五郎君 有田 溫三君 木下 成太郎君

出席政府委員左ノ如シ

內務次官法學博士 水野鍊太郎君 內務省土木局長 久保田政周君
內務省衛生局長 小橋 一太君 內務技師工學博士 近藤虎五郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

水道條例中改正法律案

○委員長(井上角五郎君) 是カラ開會致シマス、本案ハ丁度私が提出致シマシタル
デスガ、此席ニ居リナカラ若シ必要ナ場合ニハ私カラ説明ヲ致シマスカラ、ソレダケハ御許
シテ願フデ置キマス

○村松龜一郎君 大體ノ御説明ヲ願ヒタイ

○委員長(井上角五郎君) 提出ノ理由ヲ此處ニ居リナガラヤリマスカラ——現在ノ
水道條例ト申シマスノハ既ニ餘程古ク出來テ居リマシテ、ソレハ必ズ市町村、即チ公共
團體デナクテハ、水道ヲ架設スルコトガ出來ナイト云フ——絕對ニ公共ノ團體デナクテ
ハ水道ヲ架設スルコトガ出來ナイト云フコトニナツテ居リマス所ガ、國庫ガ補助シマスノハ
大キナ市ナドハ、或ハ港ノ大キナモノナドノ處、ソレハ國庫デ補助シマスケレドモ、其他ノ
市町村ニハ國庫デ補助ハナイ、又國庫ノ補助モ受ケズシテ市町村自ラ架設シヤウト云
フ時ニハ、地方ノ力ガ堪ヘナイカラ、何トカシテ企業會社ニ任ス方法ヲ採リタイモノデア
ルト云フコトガ、長年衆議院ニ於テハ議論ガゴザイマシタ、丁度今カラ三回、四回目程
ノ前ノ議會デアッタカト思ヒマス、其議會デ市町村以外ノ企業者ニモ、又水道ノ架設ヲ
許スコトハアルト云フヤウニ、水道條例ヲ改正シマシタ、所ガ其時ノ方法ト云フノハ市町
村以外ノモノガ水道ヲ架設シタ場合ニハ、年利五朱ノ利益ヲ取ルコトハ許ス、併シ其
年利五朱ノ利益ヲ以テ段々元金ヲ埋メテ行ツタ、結局元金ガ償却セラレタ時ニハ、自ラ
市町村ニツレヤツテシマハナケレバナラヌ、假リ三元償却ガ出來ナクテモ、許可年限
二十五年トスルト、二十五年ニ元償却ガ出來ナクテモ、公共團體ハ出シテヤラナケレ
バナラヌト云フ法律ニナリマシタ、ソレデハ市町村以外ノ企業者ニ許シタト言ウタ所ガ、
所謂其名ノミデアツテ、事實ソナ馬鹿ナ事ヲシテハ無イノデアリマスカラ、三四回前ノ
議會デ決定シタモノハ、所謂空文ニ屬シテ少シモ實施セラレナイ、ソレヲ昨年ノ議會ニ
於キマシテ、私がツレデハイカヌカラ市町村ガ自ラヤル方ガ宜シイ、ヤリ得ナイ時ハ、其他ノ
企業者ハ幾ラカノ利益ノアル方法デ許シタラ宜カラウト云フコトデアツテ、其案ヲ出シマシ
タ、所ガ其當時ノ當局ハ幸ヒ總テ同意セラレテ結果、其法案ヲ斯様ニ改

メタナラバ、法文モ完全シテ居ルシ、又都合モ宜カラウト云フノデ、當局者ガ改メタモノヲ
衆議院ノ本會議ニ報告シテ、衆議院ハ成立チマシタ、サウシテ貴族院ニ持ツテ行ツタ所
ガ、會期ノ都合デ到頭議スルニ至ラズシテ終リニナツタト云フノガ昨年ノ議會ノ經過デア
リマス、其昨年ノ議會ニ政府委員ガ斯ウ直シタラ宜カラウト同意ヲシテ吳レタコロノモ
ノヲ、其儘今回ハ法案ニシテ出シタ譯デアリマス、實ハ全國ニ於テ水道ヲ布設スルニハ、
市町村デナクテハヤレズ、其他ノモノデヤラウトスレバ水道條例ガ許サヌ爲メニ、水道ガ
布設スルコトガ出來ズシテ甚ダ困ノガ多イデアリマス、現ニ私ノ地方ノ廣島縣福山ナ
ドモ、是ガ出來ナケレバ聯隊ノ兵營地ガ有デモ、ソレニ良イ水ヲ供給スルコトガ出來ズ、
甚ダ弱シテ居ルカラ、是非此議會デ通過シテ貰ヒタイト云フデアリマスガ、獨リ私ノ地
方ノ利害問題デナイノデアリマス、其様ナ有様デ、此法案ヲ提出シマシタ手續ハ大略此
位デアリマス、尙御尋ガゴザイマスレバ申上ゲマス

○帆足隼太郎君 チョット、私ハ政府委員ニ御尋シマスカ、全體水道事業ノ如キモノハ、
社會公共ノ最モ必要ナル事業デアルト云フコトハ申スマデモナイノデアリマスガ、併シ此
條例ノ不充分ノ爲ニ、吾ミノ見聞致シマスル所ニ於キマシテモ、非常ニ不便ヲ感ジテ居
ルト云フ趣デゴザイマスガ、現ニ私ハ長崎縣デアリマスガ、長崎縣ノ極ク田舎ノ村デ小濱
ト云フ村ガゴザイマス、其處ニハ溫泉ガゴザイマシテ、所謂湯治場ニナツテ居リマシテ、四
時浴客ガ絶エズアル所デアリマスガ、誠ニ水利ガ不便デゴザイマシテ、飲用ヲ初メテ總
テ利用ガ殆ド缺乏致シテ居リマス、其爲メ殆ド二十年前ヨリ實ハ水道架設ノコトヲ、其
一部ノ村民ハ渴望致シテ居リマスニ拘ハラズ、之ヲ村會ニ訴ヘマシテモ、其利害ハ一部
ニ止マリマシテ、一般村民ガ利益ヲ享有スルノデモゴザイマセンニ依ツテ、其村ニ多少
所謂村會議員等ニモ多少弊害ガゴザイマシテ、先ヅ其一部ノ水利ヲ必要トスルトコロ
ノ部落民ト、一般ノ村民ト——多數ノ村民ハ其必要ヲ感ゼズ、却テ反對ト云フ
ナニガゴザイマシテ、如何ニツレバ希望シマシテモ頓ト希望ヲ達スルコトガ出來ズニ居リマ
シタガ、漸ク四五年前ニナリマシテ、殆ド思ヒ立チマシテヨリ二十年後ニ至ツテ、漸ク村
ノ折合モ付キマシテ表面上唯村ノ經營事業トシテ事業ヲ起シマシテ、其内輪ニナリマシ
テハ利益ハ一部ノ利便ニ止マルト云フコトデ、實際ニ經營致シマスコノ費用ハ一部ノ
者ガ負擔致シマシテ——是ハ固ヨリ僅カナ經費デゴザイマスニ依ツテ、一部ノ村民ハ負擔
シテ、漸ク四五年前ヨリ善良ナル水ヲ使用スルコトニ今日ハ到ツテ居リマス、ソレガ條例ニ
於テ若シ町村ニ企業ガ出來ナイ場合ハ、此法案ノ如ク或ハ株式組織ニ致シマスカ、其
他ノ方法ニ依リマシテ布設致シマスコトガ出來ルコトデゴザイマスレバ、速ク二十年以前
ニ其利益ヲ得テ居ルコトデアリマスケレドモ、如何ニシテ其不完全ノ爲ニ殆ド二十年間
モ空シク經過シテ居ルヤウナ姿デゴザイマス、其他廣キ全國中ニハ、多クサウ云フ所ハ少部
分ニ互リマスレバアルコトダラウト考ヘマスガ、政府ニ於キマシテハ固ヨリ是等ノ事ハ必
要ト云フコトハ、無論御認メニナツテ居ルニ相違ゴザイマセヌガ、他ノ公共的必要ト認
メラレル事業ニ於テハ、ソレ迄ノ事ハ時々刻々ニ改良シ改善セラレマシタノニ、此水道條

例ノ如キモノハ今日ニ至ルマデ、ソレ等ノ改正等モゴザイマセズ、經過致シマシタルトコロノモノハ、何カ之ヲ民設等ニ許シマスナラバ、弊害ノアルトコロノ點モゴザイマスカ、其邊ノ點ヲ一ツ、政府ノ御意向ノアルトコロヲ伺ヒタイ

○政府委員(法學博士水野鍊太郎君) 御答致シマスガ、御承知ノ如ク現行水道條例ハ、水道ハ市町村ノ如キ公共團體デナケレバ經營スルコトヲ得ナイト云フ主義ニナツテ居リマス、ソレハドウ云フ理由デアアルカト申シマス、元來水道ノ如キハ所謂公共事業デアリマシテ、斯ル公共ノ事業ハ成ルベク公共團體ヲシテ經營セシムルガ適當デアアル、營利ノ目的ヲ以テ斯ル公共事業ヲヤルト云フノハ、其公共團體ノ利益ニ反スルヤウナコトニナルノデアアルカラシテ、此ノ如キ公共事業ハ成ルベク公共團體ヲシテ經營セシムルガ宜イト云フ主義ノ下ニ、是ハ出來テ居ッタデアリマス、主義ト致シマシテハ、ヤハリ水道ノ如キ營利ノ目的ヲ以テヤルト云フコトハ、成ベク避ケル方ガ適當デラウト考ヘマスノデ、ソレデ今日マデモ其主義ヲ以テ此法律ヲ施行シ來ッタデアリマス、政府ニ於キマシテハ、成ルベク此主義ト戻ラヌヤウニシタイト云フ考ハ持ッテ居ッタデアリマスガ、然ルニ近年段々水道事業ト云フモノガ發達シ來リマシテ、又水道ノ必要デアアルト云フコトハ申スマデモナイ話ナノデアリマスカラシテ、同時ニ一面ニハ又其市町村財政ト云フモノニハ、財源ニ限リガアルノデアリマシテ、ナカノ市町村デケデ以テ斯ル事業ヲ企ルト云フコトハ隨分困難ナコトモアルノデアリマス、ソレカラ市ガ經營スル場合ニハ、國カラシテ補助ヲ與ヘルト云フ慣例ニモナツテ居リマス、事實其通りヤツテ居リマス、是モ國ノ財政ノ範圍ニ於キマシテ補助ヲ與ヘルラヌト云フ狀況モアルノデアリマス、又町村ノ如キニ至リマシテハ、ドウシテモ補助ヲ與ヘルト云フヤウナ點ニナラナイノデアリマス、サウ云フヤウナ狀況デアリマスカラシテ、市町村ノ如キ公共團體ガ水道ノ如キ公共事業ヲ經營スルト云フ主義ハ宜イケレドモ、漸次ニ水道ノ必要ヲ感ジ其市町村ガ經營ガ出來ヌト云フヤウナ狀況ニナリマスレバ、或程度ニ於テ私人ニ經營ヲ許サネバナラヌト云フコトハ考ヘテ居ッタデアリマス、併ナガラ政府案トシテ之ヲ提出スルト云フコトニ付キマシテハ、尙ホ十分ニ研究ヲ要スルト云フ考デアリマシテ、マデ政府ガ此水道條例ノ主義ヲ變ヘルト云フコトマデノ程度ニ進ンデ居ラナカッタ、然ルニ四十四年デアリマシタカ、先程委員長ノ説明セラレマシタ如ク、今日ノ狀態ニ於キマシテハ水道ハ或程度ニ於テ私設ヲ許ス必要ガアルト云フ案ガ出タノデアリマス、其時ニモ私設ヲ許スノ必要モアリマスケレドモ、成ルベク公共事業ハ公共團體ガ經營スル主義ニ戻ラザル範圍ニ於テヤリタイト云フ趣旨ノ下ニ、私設ノ水道ヲ經營スル場合ニ於キマシテモ、其市町村ノ利益ト相反セヌト云フコトヲ必要トスルト云フコトデ、イロノノ條件ガ付イテ其法律ガ通過シタト云フヤウナ次第デアリマス、サウ云フ次第デアリマシタガ、ドウモ其條件ガ少シ窮屈ニ過ギマシテ、折角私設ヲ許シタ目的ヲ達スルコトガ出來ナイト云フ狀況デアリマシタノデ、昨年此水道條例ノ改正案ガ井上君其他カラ御提出ニナッタノデアリマス、今日ノ狀態ヲ考ヘテ見マスト云フト、多少其範圍ヲ廣メル必要ガアルト云フコトヲ認メマシタノデ、政府ハ之ニ同意致シタノデアリマス、サウ云フ狀態デアリマシテ、政府ニ於テモ或程度ニ於テ私人ノ經營ヲ認メルト云フコトハ、ヤラネバナラヌト云フコトハ考ヘテ居ッタデアリマス、ケレドモ併ナガラ今現ニ此水道條例ヲドウ云フ點マデ改正スルカト云フコトニ付テハ、未ダ十分ナル調査ヲ進メル場合ニ至ラナ

カッタノデ、然ルニ議員ノ方カラ斯ウ云フ提出ガアリマシタカラ、段々研究ノ結果、斯ウ云フ規定ニ修正スルニ於テハ差支ナイト云フコトヲ同意致シタ次第デアリマス、サウ云フ次第デ今日マデ此水道條例ガ施行シ來ッタト云フ譯デアリマス

○紫安新九郎君 政府委員ニチヨット御尋致シマスガ、私モ本案ニハ贊成ノ一人デアリマスガ、併シ本案ハ事、公共事業ニ關係ノアルコトデアリマスカラ、此改正案ノ第三條第二項中ノ「元資償却ノ方法ヲ全部削ルト云フコトハ、是ハ別段差支ナイモノデアリマセウカ、現行法デハ何デモ五朱ノ制限ガ付ケテアッタヤウニ思フ

○政府委員(法學博士水野鍊太郎君) 是ガ今度ノ改正案ノ根本ノ趣旨ニナツテ居リマス、云フノハ、今日ノ現行法デハ元資ヲ償却スル目的トスル企業者ニ限ツテ居ル、ソレデアリマスカラ元本デケテ償却スルデナケレバイカヌト云フコトニシタ、而モ其元本ノ利子ト云フモノニ制限ヲ付シテ、五分以內デナケレバイカヌト云フ斯ウ云フコトニナツテ居ル、サウスルト實際問題トシテ元資ヲ償却スル、而モ其元資ノ利子が五分デト云フコトニナリマスレバ、資本ヲ投シタ其資本ヲ償フコトスラ出來ナイ、サウ云フ狀態デハ水道ヲ必要トシテ經營シヤウト云フ會社ナリ其他ノ企業者ガ出來テモ、ソレデハ事實行ハレナイ、斯ウ云フコトデアリマスカラ、或ル程度マデハドウシテモ利益ヲ目的トスルヤウニサセナケレバナラヌ、場合ニ依レバ六分ノ配當ヲスルコトモアリマセウ、七分ノ配當ヲスルコトモアリマセウ、必ズシモ元資ノ償却デナイ、或ル程度ノ營利ヲ目的トスルコトヲ許サナケレバ、私人經營トシテ成立タナイト云フコトコカラ、元資償却ヲ削ル必要ガ出來、從ツテ利子ノ制限ヲ削ラネバナラヌ、斯ウ云フ趣旨デ此案ガ提案サレタモノト考ヘマスガ、サウデアリマスカ

○委員長(井上角五郎君) サウデゴザイマス

○紫安新九郎君 私モ其點ハ了解シテ居ルノデアリマス、ケレドモ唯事ガ公共ノ事業ニ關係アルコトデアリマスカラシテ、今ノ五分ノ償却ト云フコトハ、甚ダ私人ノ經營ニ對シテハ苛酷ノ制限デアルト思フケレドモ、併ナガラ是ニハ何等ノ制限ヲ付ケテ置ク必要ガナイデアラウカト思フ、其邊ハ如何ナモノデアリマセウカ、政府委員ノ御考ハ如何デス、無制限ニシテシマフト云フコトハ……

○政府委員(法學博士水野鍊太郎君) チヨット御尋ノ趣旨ハ、ヤハリ元資ヲ償却スルコトヲ目的トスルト云フ原則ヲ取ツテ置ク方ガ宜イト云フコトデアリマセウカ、唯其元資ニ對シテ利息ノ五分以內ト云フノハ少シ變シテ主義ハ、ヤハリ元資償却ヲ目的トシテ置イタ宜イデナイカト云フ御尋デゴザイマセウカ

○紫安新九郎君 主義ハ元資償却ト云フコトニ致シマシテ、サウシテ五分ト云フモノハ私ハ少シ苛酷ノヤウニ思ヒマスカラ、モウ少シアノ率ヲ上ゲテ、尙ホ制限デケハ置ク必要ガアルデラウト思フノデアリマス

○委員長(井上角五郎君) 提案者トシテ、一ツ言ハセテ戴キタイ、去年段々研究シタ問題デアリマスガ、五朱ノ利子ノ元資償却ヲ致シマスノハ、例ヘバ二十五年ノ期限ヲ許サレテ居レバ、二十五年以內ニ五朱ノ利子ノ元資償却ガ濟ンデシマヘバ、市町村ニソレヲ遺ルノデスカラ、五朱ノ利子ヲ貰ッテ、元資ヲ戻シテ貰ヘバ宜イノデスガ、期限內ニ元資償却ガ出來ナクテモ、唯ヤラナケレバナラヌコトニ現在ノ法律デハナツテ居リマス、ソ

レハ能ク往ツタコロガ五朱ノ利子ヲ貰ッテ、元金ヲ戻シテ貰フニ過ギヌ、下手ニスレバ元金ヲ戻シテ貰ハヌデ、市町村ニ遺ラナケレバナラヌノガ現行法デ、ソシナコトデハ連モ出來ナイカラト云フノデ、元資償却ノ方法ヲ削ルノガ此法律改正ノ骨子デアリマス、ソレニ付テ瓦斯會社ヤ電燈會社ノヤウナ勝手次第ナコトヲシヤシナイカト云フ問題ガ起リマスガ、此處ニハ第一水量ノ別限ハ、内務大臣ノ許可ヲ得テスルノデアル、ソレカラ供給區域ヲ設計ノコトモ、内務大臣ノ許可ヲ得テアルノデアリマス、モウ一ツハ企業者ノ布設シタ水道ヲ市町村ガ買ハウトスレバ、何時デモ買ヘル、ソレカラ期限經過後ハ元値デ市町村ガ買フコトガ出來ル、ソレヲ元値デ賣ラヌト云フヤウナコトヲ言フト、訴願ノ途モアリ、イロ／＼方法モアツテ、電燈會社ヤ瓦斯會社トハ非常ニ制限ガシテアリマス、偉イ利益ハ得ラレナイモノニナツテ居ル、其制限ヲ付ケタラバ、今ノ元資償却ノ方法ハナクテモ濟ミハシナイカト云フ理由デアツタノデス

○木下成太郎君 此十九條「市町村又ハ市町村ニ非サル企業者ニ於テ履行スヘキ事項ヲ履行セス又ハ之ヲ履行スルモ充分ナラズト認ムルトキ又ハ必要ノ時限内ニ履行シ得ズト認ムルトキハ地方長官ハ府縣費ヲ以テ之ヲ施行シ其費用ヲ市町村又ハ市町村ニ非サル企業者ヨリ之ヲ追徴スルコトヲ得」トアリマスガ、是ハナクデセウカ、此費用ヲ市町村又ハ市町村ニ非サル企業者カラ追徴スルコトガ出來ルノデスナ、同時ニ事業ハドウ云フ風ニナツデシマフノデスガ、事業ハ其府縣ガスルト云フヤウナ理窟ニナルノデスカ

○委員長(井上角五郎君) 例ヘバ火事ノ時ノ用意ニ消火栓ヲ設ケルト云フコトヲ命令シタ、然ルニ其命令通りニシナカッタト云ツタラバ、地方長官デソレヲヤル、ヤツデサウシテ其費用ハ、例ヘバ其場合ニハ即チ市町村ニ非ザル企業者、公共團體ガヤツテ居ル場合ニハ、市町村ニ其費用ヲ出サスノデアル、サウ解釋シテ宜シイノデス

○木下成太郎君 サウスルト、モウ一ツ御尋シマスガ、地方長官ハ府縣費ヲ以テ、ト云フコトガアリマスガ、是ハ北海道ハ這入ッテ居ナイノデスカ

○委員長(井上角五郎君) ドウ云フコトニナリマスガ、北海道モ入レナケレバナリマスマイ

○木下成太郎君 此上御異存ガゴザイマセヌケレバ、道府縣費ト云フコトニ願ヒタイト思ヒマス

(速記中止)

○委員長(井上角五郎君) 今チヨット速記ヲ止メルコトヲ簡單ニ速記ノ方ヘ言ッテ置キマシタガ、此速記ヲ止メタノハ第十九條ノ法文ノ書方ニ付テ、互ニ協議シタノデアツタト云フコトヲ速記録ヘ書留メテ戴キマス

○若尾幾造君 私ハ此案ハ誠ニ結構ナコトデ、企業家ニ爲サシメルト云フコトハ國家ニ取ツテ非常ナ利益、又出來ナイ地方ニ取ツテハ一層ノ利益デモゴザイマス、本案ニ賛成ヲ致シマス

○紫安新九郎君 チヨット政府委員ニ伺フデスガ、此第二十一條「内務大臣ハ必要ト認ムルトキハ水道ノ布設ヲ市町村ニ命スルコトヲ得」トアルデスガ、斯ウ云フ場合ハ私ノ想像デハ市町村ガ資力ニ堪ヘヌトキトカ、或ハ私人ノ企業者ガ利益ノ無イモノト認メル土地ニ斯ウ云フコトガ起リハシナイカ知ラヌト思ヒマスガ、併シ唯是デケデ此水道ノ布設ノ

ヤウナ重大ナ負擔ヲ市町村ニ命ズルト云フノハ、私ハ如何カト思ヒマスガ、政府委員ノ御考ハ如何デス

○政府委員(小橋一太君) 是ハ下水道設置ノ場合ニモ同様ナ目的デ規定サレテアリマスガ、チヨット場合ヲ申上ゲマスルト、私設會社企業シテ居ツタ場合ニ、其創設ノ際ニ方ツテハ市町村ガ負擔ニ堪ヘナイ市町村財政状態デ、起債其他ヲ許サヌト云フ場合モアリマスルシ、段々進行ノ後期限經過後ノ場合ニ、固ヨリ市町村ハ餘力アリ、又此經營上モ市町村ヲシテ經營セシメタ方ガ宜シイト云フ種々ノ關係ニ於テ必要ヲ認メルコトモアリマセウカラシテ、其場合ニ市町村ガ引受ケレバ宜イガ、會社ト市町村ノ關係ニ於テ往々ニ市町村ガ當然引受ケテ適當ト見テ居ラレルノニ、市町村自身ガソレヲ引受ケナイ場合ガアルコトヲ豫想シテ、其時ニ内務大臣ハ市町村ニ命シテヤラセルト云フ積リテ規定ガ出タノゴト思ヒマスガ、例ヘバ監督權ヲ以テ私設會社ニ對シテ相當監督シテ、給水上其他衛生上ノ目的ヲ達スルヤウニ致シマセウケレドモ、存外會社ノ經營ニシテ監督シテモ、場合ニ依ツテ會社ツレ自身ノ内容ガ好クナイタメニ、寧ロ町村ヲシテ直營セシメテ宜シイト云フコトモナイトモ限ラヌト思ヒマス、而シテ其水道ノ經營ガ市町村デ十分出來ルト云フ場合ニ、市町村ガ自ラ進シテヤラナイ時ハ是ハ、ヤラシテモ宜シカラウト云フ、斯ウ云フ極ク少ナイ例外ヲ豫期シテ書イテアリマス

○紫安新九郎君 先刻政府委員ノ御説明ニモ水道ノ布設ニ付テハ、市ノ經營シタ場合ニハ國庫ガ補助シテ居ル慣例ニナツテ居ルト云フ御話デアリマシタケレドモ、マダ町村ニ對シテハ是マデ水道ノ經營モナイヤウデスシ、又隨ツテ政府ノ方モ今後此町村ニ對シテハ國庫ノ補助ヲナサル考デアルカドウカガ分ラヌデスカ、私ハ之ニ對シテ但書ヲ入レテ置ク必要ハナイカ知ラヌト思ヒマス、「前項ノ場合ニハ國庫ハ其經費ヲ補助スルコトアルヘシ」ト力何トカ云フ但書ヲ入レテ置イタ方ガ宜イヤウニ思ヒマスガ、如何デゴザイマセウカ

○政府委員(法學博士水野鍊太郎君) 此水道ノ布設ヲ市町村ニ命ズル場合ハ、マア實ハ餘計ハナイ場合デス、例ヘバ市町村ノ資力モ餘リアツテ、十分ニ自分ノ所デ以テ經營スル餘力アル、ソレカラ市町村民モ希望シテ居ルト云フニモ拘ラズ、或事情デヤラヌト云フヤウナコトモアルノデスナ、イロ／＼ナ其内情ノ反對ノ理由ナドガアツテヤラヌコトガアル、サウ云フヤウナ場合ニハヤハリ内務大臣カ何カ監督上デ命令シナケレバ、ドウモ出來ヌト云フコトガアリマスカラ、サウ云フヤウナ場合ヲ豫想シテ書イタヤウナ譯デアリマス、事實町村ノ資力モ乏シク又市町村民モ希望シテ居ラヌ所ヲ、強制シテ無理ニヤラセルコトハ、事實ノ問題トシテハ餘計ハ起ラヌコトデアラウト思ヒマス、ソレデアリマスルカラ此場合ニ必ラズ補助ヲヤルノゴト、斯ウ云フコトヲ書イテ置クト、寧ロ其義務ヲ國ガ負フヤウニナリマシテ、甚ダソレハ困難ダラウト思ヒマス、事實國ノ方ノ財政ニ餘裕ガアレバ、成ベク水道ナドモ補助ヲ私共ハヤル方ガ宜イト思ヒマスケレドモ、併ナガラナク／＼國ノ財政ニ餘力ガ無イモノデアリマスカラ、必ズ補助ヲスルト云フコトヲ法律ニ書イテ置クト云フコトハ、必要モナク、又寧ロ困難ダラウト思ヒマス

○紫安新九郎君 私ハ今此處ニ現行法ヲ持タヌデスケレドモ、私人ノ經營ノ場合ノ土地收用ニ關シテハ別段差支ナイデスカ

○政府委員(小橋一太君) ソレハ差支ナイデゴザイマス

○帆足隼太郎君 チョット政府委員ニ御尋致シマスガ、此二十一條ノ唯今紫安君ニ御答辯ニナリマシタコロニ依ッテ、私モ御説明ヲ解シマスルニ「水道ノ布設ヲ町村ニ命スルコトヲ得」ト云フノハ、實際市町村ノ經營ニアラズ、企業者ガ既ニ布設シタ水道ニシテ最早市町村ノ資力モ、ソレ等ノコトヲ經營スルニ足ルト云フコトヲ認メル際ハ、ソレ等ノ既設水道ヲ市町村ニ買入レテ命ズルコトヲ云フヤウナ、ソレ等ノ場合ガアルカラ、此條項ヲ設ケタノダト云フノデゴザイマスガ、チヨット二十一條ヲ單純ニ讀下シマスルト「水道ノ布設ヲ町村ニ命スルコトヲ得」ト申シマスレバ、マダ布設シテナイ所謂新設——新ニ布設スルト云フヤウニ見エルヤウデゴザイマスガ、固ヨリ内務大臣ニ於テ必要ト認メラレマスル以上ハ、新ニ布設ヲ命ズルコトモアルシ、又ハ既ニ企業者等ニ於テ布設ヲ致シテ居リマスルノモ、ソレ等モ既ニ町村ニ於テ資力モ生シ經濟モ許スト認メテ、最早買入レテ宜シイト云フ必要ヲ認メタル際ニハ、ソレヲ買収ヲ命ズルコトヲ得ト云フナンデゴザイマスレバ、マ少シドウカ條文ヲ明カニ分ルヤウニシテハ如何デアラウカト考ヘマスガ、少シク——

チヨット是ダケノコトデハ「水道ノ布設ヲ町村ニ命スルコトヲ得」ト云ヘバ新シク布設ヲ命ズルト云フヤウニ、チヨット解釋ガ近イヤウニ思ハレマスガ、其邊ハ差支ナイノデゴザイマセウカ

○政府委員(小橋一太君) 今御尋ノヤウニ、成程私ガ先刻ノ説明ハ、命ズル、極ク例外ノ場合ノミヲ見テ居リマシタカラ、サウ云フ風ニ御聽取リデゴザイマシタラウガ、此布設ヲ命ズルト云フコトハ殆ド實例ハ餘アリマスマイガ、單ニ新設ノ場合モ無論此事ノ中ニ、昨年御協議ノ時ハ含シテ居リテ書イタノデアリマシテ、市町村等ノ事情ガ衛生上ドウシテモ布設ヲシナケレバナラスト云フ場合ニ當ツテ、市町村ニ於テモ相當資力モアリ、市町村民モ公共的考カラ見テ敷設ヲ急務トスルニ、村會等ノ或ハ村會内ノ紛擾其他ノ事情ノタメニ、先刻小濱村ノ御話モアツタヤウナ譯デ、單ニ村内ノ事情ニ據マレテ、ヤラス場合ガ往々ニシテ無イト限リマセヌカラ、此ノ規定ノ主旨ハヤハリ廣ク新設ノ場合モ入ッテ居ル考デゴザイマス、併ナガラ此條文ノ入ッタ原因ノ主タルモノハ、今ノ私設會社ト市町村ノ關係ノコトヲ豫期シテ書イタノデアリマスカラ、廣ク兩方ノ意味ヲ含マシタ積リデゴザイマス

○委員長(井上角五郎君) 之ヲ書ク時ハ能クアル事デ、瓦斯デモ或ハ電燈デモ、其地方デ經營シタラ宜ササウナモノヲ、他ノ者ガ行ッテカラニ縣會議員カ村會議員ヲ幾人カ口説イテ勝手次第ナコトヲヤル例ガアル、水道杯ソソナコトヲヤッテハ大變ダカラト云フ話ガ起ッテ書イタ、ダカラ其方ヲ先ニ御説明ニナリマシタガ、其實アナタノ御尋ノ方ノ意味ガ主ニナッテ、サウシテ今兩方含シテ居リナノデス、餘程昨年ハ之ニ就テ研究ヲシタノデス——如何デス

○村松龜一郎君 私ハ原案賛成

○木下成太郎君 私ハ先刻ノトコロサヘ何スレバ……

○委員長(井上角五郎君) 唯今木下君ノ御説デゴザイマスガ、今年モ最早會期ガ餘程過ギテ居リマスノデ、早ク可決シテ戴キタイト、提出者トシテハ希望スルノデアリマス、皆サン大略御賛成下サルヤウデスガ、斯ウ云フコトニ願ハレンデゴザイマセウカ」地方長官

ハ府縣費ヲ以テ云々」ト云フ此ノ箇條ニ付テハ主査理事ガ政府委員ト交渉シテ木下君ノ満足ノ行クヤウナ文字ニ直シテ、或ハ此儘デ木下君ガ満足ガ出來レバ此儘デ議會ヘ報告スルトシテ、今日決定シテ戴ク譯ニ行カヌデセウカ

○木下成太郎君 宜シウゴザイマス、私ハ御任せ致シマス

○委員長(井上角五郎君) ソレハ一向委員會トシテ差支ナイ、議案ノ整理ヲ委員長理事ニ任ス、ソレト同ジ意味デ、唯木下君ノ満足ノ行クマデノ文字ニ直シテ、ソレハ政府委員ト交渉シテサウシテ全部可決シテ議會ヘ報告スル

○木下成太郎君 文字ノ都合デ、ソレモ大變都合ガ惡イト云フコトナラバ、何レカノ場合ニ於テ此精神ハ、即チ北海道ト云フモノモ此中ニ入ッテ居ルモノデアルト云フコトヲ、何等カ政府ノ方カラシテ……

○委員長(井上角五郎君) 詰リアナタガ満足スレバ宜イノダ、ソレデ一ツ可決ヲスルコトニ……

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(井上角五郎君) ソレデハ可決致シマシタ、政府委員ニハ御氣ノ毒デスガ暫ク御殘リ下サイマセ、木下サンモチヨット殘ッテ下サイ、此處デ協議會ヲ開イテ早速ヤリマスカラ——委員會ハ是デ散會致シマス

午前十一時十五分散會